

外来担当医表

病院広報誌 秋号 No.47

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	内科	青山(龍) 高見	市原 川村	松本 山口	市原 青山(龍)	松本 青山(龍)	市原 松本
	整形外科 外科	岡庭	岡庭	岡庭	岡庭	院長 岡庭	第1.3院長 第2.4.5岡庭
	小児科	長江 木村	長江	長江 木村	木村	長江 木村	長江 木村
	検査	胃カメラ 腹部エコー 松本			胃カメラ 腹部エコー 松本 頸動脈エコー		
午後 14:00~16:00	内科	市原	青山(龍)	市原	松本	山本	
	整形外科 外科						
	小児科	長江	長江	予防接種 乳児健診	木村	木村	
	検査	大腸ファイバー 松本・川村 頸動脈エコー	心エコー 市原	胃ろう交換 工藤・松本 頸動脈エコー	心エコー市原 シャント・ PTA		
夕方 16:30~17:00	小児科	予防接種				予防接種	
夜間 17:30~19:30	内科	市原 第1.3.5落合 第2.4北野		青山(龍) 小坂		松本 第1.3.5駒井 第2.4上森	
	整形外科 外科	岡庭 齊藤		岡庭 勝野		院長 岡庭	
	小児科	木村		木村		長江	

周辺地図



<職員募集> 看護師・准看護師・ヘルパー 担当 益田・青山 まで お気軽にご相談ください



病院広報誌 秋号 No.47

平成29年12月発行
編集・発行/青山病院広報委員会

医療法人 青山病院

内科、胃腸科、循環器科、整形外科、外科、小児科、アレルギー科

リハビリテーション科、放射線科、血液透析センター
瀬戸市南山町1-53

TEL (0561) 82-1118

<http://www.seto-aoyama.jp>

小児科予約 <http://b.inet489.jp/aoyam1118/>



小児科予約用

基本理念

- ・思いやりと対話の医療を推進します。
- ・安全で納得できる医療を目指します。
- ・病める人々の権利とプライバシーを尊重します。

肝臓について考えてみましょう

今年も住民検診のシーズンが終わりました。まだ会社の検診が終わっていない方もいるとは思いますが、多くの方が手元に検診結果をお持ちなのではないでしょうか。

人間ドックの全国集計（日本人間ドック学会、平成27年度調査）では、高コレステロールが33.4%と最も高く、次いで肝機能異常（33.2%）、肥満（30.4%）、耐糖能異常（24.7%）、高血圧（24.0%）と続いています。いずれも年々増加傾向にあり、生活習慣病としてそれぞれが深く影響しあっています。今回はこれらの中で肝機能異常についてお話ししたいと思います。

肝機能として検診などでよく測定されている項目には、AST、ALT、ALP、γ-GTPなどがありますが、それらを総称して肝逸脱酵素と言われています。肝機能異常とはこれら肝逸脱酵素の上昇を表しているのです。肝臓が様々な原因で障害を受けると、肝細胞が破壊されて肝逸脱酵素が血液中に漏れ出します。このため、血液検査にて肝機能が高値を示すのです。しかし、これらの酵素は肝臓以外にも様々な臓器に存在しているので、上昇している酵素の組み合わせや症状などから障害を受けている臓器を絞っていくのです。

検診などで肝機能異常を指摘され、精密検査目的で外来を受診されると、まずは自覚症状の有無から問診が始まります。検診での血液検査異常だとしても疲労、食欲不振、倦怠

内科 松本 幸成

感など何となく感じていることもあります。それから、今までの治療歴（手術や輸血歴なども）、現在の内服状況（定期薬に加え、最近始まった薬、サプリメントなど）、肝疾患の家族歴、飲酒、食生活（普段の食事パターンや最近の肉、魚、貝などの生食の有無）の確認と続き、診察となります。そして追加の血液検査、腹部超音波検査やCT検査などの画像検査なども加えて原因を検索していきます。

そのような流れの中で診断されうる重要な肝疾患として、①ウイルス性肝炎②アルコール性肝障害③非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）④薬剤性肝障害⑤自己免疫性肝疾患⑥代謝性肝疾患⑦肝腫瘍（原発性、転移性、良性）⑧肝膿瘍などが挙げられます。

現在、様々な治療も進歩してきています。少し前に薬価が高いと話題になったC型肝炎では、経口薬のみでの肝炎ウイルス除去が90%以上の方で可能となりました。B型肝炎に関しては、2016年10月から肝炎ワクチンの定期接種が始まり、乳幼児のB型肝炎感染のリスクが格段に減少することが期待されています。その他の肝疾患に関しても、それぞれ適した対応策があります。当然、適切な診断をつけることが回復の近道となりますので、肝機能異常を指摘されたら、気軽に外来を受診して下さい。

高額療養費制度の見直しについて

平成29年8月より厚生労働省による高額療養費制度の見直しが行われ、医療機関での70歳以上の患者様の自己負担限度額(窓口負担)が引き上げられました。自己負担限度額は、下記のように被保険者の所得に応じて設定されています。また、70歳未満の方については従来と変更はありません。

区分	外来	入院
現役並み	57,600円	80,100円+1% <44,400円>
一般	14,000円 (年間上限14.4万円)	57,600円 <44,400円>

<>内の金額は、過去12ヶ月に3回以上高額療養費の支給を受けた場合の4回目の限度額(多数該当)
詳しい内容は各保険者または、お住いの市町村にお問い合わせください。

～病院で見たあの道具～

これなあに？

病院で使われる道具を
クイズ形式で紹介しす

この機械は何をするものでしょう？

ヒント

体の中を観察する道具です。

答え

内視鏡カメラの先端です。先端には水や空気を出して洗い流すノズルや、カメラなどが埋め込まれています。内視鏡は体の様々な部位の検査や治療に用いられ、病気の早期発見、早期治療に重要な役割を果たしています。問題の写真上は口から胃を見る内視鏡で、写真下は鼻から胃を見る内視鏡です。鼻用は細くて検査の負担が少なくなっています。



個人防護具(PPE)の勉強会を行いました。

放射線科 横山 和義

個人防護具(PPE: Personal protective equipment)は感染予防に使用する、手袋、マスク、ガウンなどの総称です。これらは「ただ付けばよい」というものではなく、正しく着用しないと効果が得られません。そこで感染対策委員会では、全職員を対象に年1度PPEの勉強会を開催し、PPEの正しい着脱方法や使用方法を勉強しています。

昨年までは講義形式で行っていましたが、今年は職員が積極的に参加できるように、参加型の勉強会を行いました。内容は処置別に必要なPPE選ぶといった問題をクイズ形式で出題し、グループごとに相談して答えを発表するといったものです。いろいろな部署や職種の職員が同じグループになるようにしたため、普段あまり関わらない職員と交流ができ、また正しいPPEの使用方法が理解できたことから、参加型の勉強会でよかったといった感想を多数いただきました。今回は自分が発表者を務めたことで、より詳しくPPEについて理解することができて、良かったと思います。

これからも感染対策委員会ではこのような勉強会を開催し、感染対策に努めていきます。

